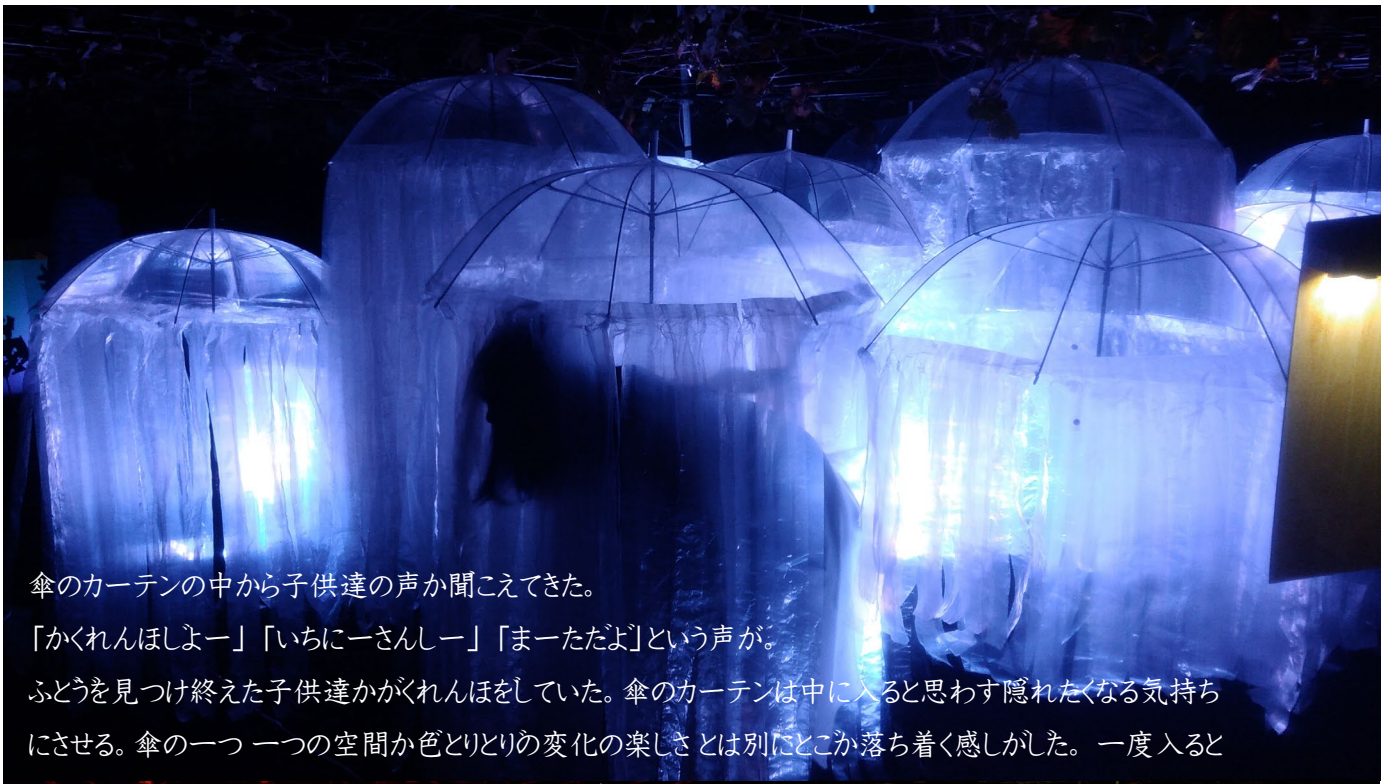
雨の中のぶどう狩り

傘　の　カ　ー　テ　ン

小さいころ、雨の中、傘をさして出かけるのが楽しいと思うことがあった。それが大人になると、雨が降る空は、憂鬱な気分の根源へと変わっていった。雨をどうして楽しく感じ、どうしてその良さを忘れてしまったのだろうか。

ぶどう園でのライトアップを考える際に、雨の中のぶどう狩りを思いついた。
夜の雨の中、傘を差しながら、ぶどうを探すという行為が面白そうだと感じた。そのことを光で表現する。
通常ぶどう狩りをするときには、辺り一面に吊り下がっているぶどうを見ることになるが、それでは発見や喜びはあまり感じない。雨の中でぶどうを探し、見つけ、そしてぶどうを食べることで喜びは増幅する。
細く長く静かに降る雨の中で、光り輝くぶどうを探して、夜のぶどう園をさまよい歩く。

スズランテープで雨を表現し、ぶどうを外側から見えないように配置する。隠すことで見つけたときの驚きを高める。また、軽い素材を使うことで風で雨が動き人を中に誘導する。傘が全身を覆うことで６色の淡い光の変化を体感できる。



傘のカーテンの中から子供達の声か聞こえてきた。
「かくれんほしよー」「いちにーさんしー」「まーただよ」という声が。
ふどうを見つけ終えた子供達かがくれんほをしていた。傘のカーテンは中に入ると思わす隠れたくなる気持ち
にさせる。傘の一つ 一つの空間か色とりとりの変化の楽しさとは別にどこか落ち着く感しがした。一度入ると
子供に戻ったかのようになかなか離れられない 二度発見のある作品に仕上げられた。

傘の高さを変えることで平坦な立地に差を生み出し、空中にリズム感を与える。見えにくい釣り糸を使い傘が浮いているかのようにしている。透明な素材にDMXによる光色変化を加えることで、ぶどう園の雨の空を鮮やかに彩っている。

イベント:第 5 回 世田谷 Light in Farm
～光の収穫祭～
日時:　2018年11月17日～25日
場所:　東京都世田谷区野毛 2-20-16 木村ぶどう園

一つ一つの傘の中に発見がある。またライトアップで中のぶどうも鮮やかに見せる。